

第14回 石川ジュニアオープンバドミントン大会

監督会議資料

競技上の注意

1. 本大会は、平成20年度の(財)日本バドミントン協会競技規則に基づいて行います。
ただし、得点は21点3ゲーム(Max30点)とします。
2. タイムテーブルの20分前には会場内に待機して、アナウンスに注意してください。
3. アナウンスがあり次第、直ちにコートに集合して下さい。
4. 競技進行の円滑を図るために、集合時刻厳守にご協力下さい。
5. 団体戦において、競技開始15分前にオーダー用紙を提出して下さい。ただし、男女共1回戦は、4日(月)午前11時まで提出して下さい。
6. 団体戦の試合順は、複1 単 複2とします。初回戦は3試合とも行います。
7. 試合の進行状況によっては、試合開始時刻や使用コートの変更、団体戦では、2コートを使い、平行して行うことがありますのでアナウンスに注意してください。
8. 試合が連続になった場合は、原則として試合終了後15分間の間隔を置いた後に試合を始めます。
9. 試合前の練習は、主審の計時により3分間とします。若番のチームから始めます。
10. 使用するシャトルコックは、(財)日本バドミントン協会第2種検定合格水鳥球です。
11. ゲーム間のインターバルは120秒以内、11点得点時のインターバルは60秒以内とします。
試合再開20秒前にはコート付近にいてください。
12. 主審が認めた事以外の試合の中断は一切認めません。怪我などは主審の指示に従ってください。
13. 個人戦のベスト8決めまでは、敗者線審制と致します。個人戦の準々決勝以降とすべての団体戦は相互線審とします。線審が不足している場合、本部に申し出てください。主審と得点係は本部で準備します。団体戦において2コートを同時使用する場合も本部で準備します。
14. 水分補給は試合のインターバルのみ認めるが、水滴等が落ちないように配慮を要する。

審判上の注意

1. 審判は、本年度の(財)日本バドミントン協会競技規則同審判規定に基づいて運営します。
2. 抗議は一切認めません。それと思しき言動も慎んで下さい。質問は当該選手と監督に限り認めます。
3. 次のような行為は禁止されていますので、注意して下さい。
プレーを故意に遅らせたり、中断すること。(コート外での汗拭き等)
故意にシャトルに手を加えたり、破損したりすること。
見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など、下品で無礼な態度や言動。
コート施設をたたいたり、耳障りなかけ声や呼び声を発するなど、競技規則を越えた不品行又は不快な行動。
4. 試合の棄権について、次の場合棄権とみなします。
何の連絡もなく、選手が集合時刻に集合しなかった時。
[ゲーム間のインターバルにも適用します。プレーヤーは試合再開20秒前にはコート付近に居てください。]
ケガなどで試合の続行が不可能なとき。事故タイムについては、次の規定を参照にして判断します。
[テーピング治療などは、外傷、けいれんなどのはっきりわかるもので、主審に申し出があれば、コート内で最大5分以内、1回限り認め、2回目からは、試合続行不可能とみなします。]